

Shine

津幡南中学校長 田中 宏志
3年学年主任 村上 直哉

「時」を守り、思い出に残る最高の修学旅行になりました！

5月13日(火)～15日(木)、待ちに待った修学旅行が行われました。この行事を成功させるために、1年生時から学校行事に積極的に取り組み、時間や決められたルールを守ることの大切さを子供たちと一緒に考え実践してきました。その集大成の一つが今回の修学旅行でした。様々な場面で子供たちはお互いに声を掛け合い、意識して過ごすことができました。3日間の修学旅行をダイジェストで紹介したいと思います。

5月13日(火) 修学旅行1日目 学校 → 京都自主研修 → ディナークルーズ(テーブルマナー) → ホテル



出発の朝は6:00集合。日々の登校の様子を見ているとカリヨンが鳴るギリギリ登校の生徒が見受けられ、一抹の不安がありました。しかし、この日は大きな旅行かばんをもって生徒全員が5分前に集合することができました。これから始まる3日間をとっても楽しみしていることを改めて実感し、良い思い出を作ってあげようと教職員一同、さらに気が引き締められました。

クラスごとに乗車したバスは、学校を出発し黒丸SAへ向かいました。朝早い時間帯にも関わらず、子供たちはテンション高めで、学級プロ委が考え、準備してくれたバス・レクにも積極的に参加し、盛り上がっていました。黒丸SAでは、京都自主研修の方面行のバスに乗り換えもスムーズにいき、いざ京都へ。清水寺、金閣寺、八坂神社からそれぞれが班ごとにスタートしました。チェックポイントでは、元気な顔を見せてくれ、大きな遅れもなく順調にプラン通りに回ることができました。

京都自主研修のゴールは、平安神宮。気温が高く暑い日中だったこともあり、日焼けでほほを赤らめながら汗を拭きふき集合場所に早めに到着していました。15:30の集合時間にもしっかりと全員が無事に集まることができました。

平安神宮からバスに乗り込み、神戸へ向かいました。メリケンパークオリエンタルホテルに到着し、部屋に荷物を入れ、部屋から見える神戸港の景色に大興奮していました。その後、ホテル横に停泊している「ルミナス神戸2」に乗船し、神戸港の夜景をバックに「フランス料理のフルコース」を堪能しました。多くのナイフとフォークが並ぶテーブルに座り、緊張した面持ちで、運ばれてくる料理の説明とナイフとフォークの使い方を学びました。最後のデザートが終わった生徒から屋上の甲板に出て、神戸のきらびやかな夜景を堪能しました。火照ったほほに当たる夜風がとても気持ちよく感じました。



5月14日(水) 修学旅行2日目 ホテル → キャリア学習(アミュースタ神戸) → クラス別研修 → ホテル

1日目は朝早くから夜まで活動したこともあり、朝は遅めのスタートとなりました。ホテルでの朝食バイキングでは、それぞれが食べたいものをたらふく食べることができ朝から食欲旺盛で、何度もお替りする姿がとても印象的でした。食事の後、キャリア教育の一環として「職業人に学ぶ会」を催しました。今回は吉本興業のお笑い芸人サルインさんがゲストでした。子どもたちには当日まで内緒にしていたのですが、話の中で、渦端に住んでいることや、お世話になった先生のお名前が飛び出し、私たちの先輩だということを知り、大変驚いていました。私事になりますが、昨年末に野球部の同窓会が行われ、その会場で彼と出会いました。話がトントン拍子で進み、今回の講演会が実現しました。サプライズ成功でした。最後にステージにみんな集合し、サルインさんを囲んで全体写真を撮り、みんないい表情で写っていました。会場を後にし、「萬壽殿」で中華料理を堪能しました。食べ盛りの男子たちには少し量が少なかったのかもしれませんが、残った女子テーブルの分まできれいに平らげていました。食事の後、クラス単位でバスに乗り込み、クラス別研修に出発しました。

1組は森永乳業で工場見学の後、そこで生産しているアロエヨーグルトを試食しました。大阪府立科学館では、多くの体験ブースで科学の歴史について学び、あべのハルカスでは地上300mから大阪の街並みを一望しました。

2組は、明治なるほどファクトリー大阪できのこの山とたけのこの里の製造工程を見学しました。きのこの山が出来上がりベルトコンベヤーに乗って流れて落ちてくる状況に生徒は大興奮でした。その後、あべのハルカスに向かい、展望とショッピングを楽しみました。

3組は、ヤクルト本社でソフルやミルミルの製造工程を見学しました。睡眠の質を上げるヤクルト1000の試飲もできたようで、その日の夜はぐっすりと眠ることができたことでしょう。そのあと、甲子園球場に行き、スタジアムツアーに参加し、3塁側ベンチやグラウンドにも足を踏み入れることができました。講演していただいたサルインさんも本校野球部だったこともあり、一緒に見学しました。

4組は、カップヌードルミュージアム大阪池田へ行き、マイカップヌードルファクトリーではパッケージに色づけをし、中の具材を選択して自分オリジナルのカップヌードルをつくりました。その後、海遊館に行き巨大なジンベイザメを見るなど水族館の見学を楽しみました。

5組は、明治なるほどファクトリー関西に行き、ヨーグルトの製造工程を見学しました。ヨーグルトの世界に入り込んだ不思議な空間でヨーグルトの秘密を楽しく学ぶことができました。その後は、4組と同じ海遊館でそれぞれが楽しい時間を過ごすことができました。

クラス別で研修を行った後、近鉄ユニバーサルホテルに向かいました。ユニバに隣接するホテルということもあり、各部屋ではウェルカムムード満載の仕掛けやBGMが流れ、子供たちのテンションがみるみる上がっていくのを感じることができました。夕飯はバイキングを堪能しました。子どもたちが好きな料理のオンパレードで、チョコレートフォンデュに大興奮でした。おなか一杯になって部屋に戻り、最終日のユニバに備えてからだを休めました。部屋は3人～5人部屋ということもあり、遅くまで話し声が聞こえるなど、興奮冷めやらぬ夜でした。



5月15日(木) 修学旅行3日目 ホテル → ユニバーサル・スタジオ・ジャパン → シグナス

朝5:45のモーニングコールで子供たちは起床しました。朝早い起床でしたが、誰一人遅れることなく食事会場に姿を現しました。朝食もしっかりと食べる姿が見られ、最終日にも関わらずみんな元気でした。食事を済ませ、カバンをまとめ、7:30にホテルを出発し歩いて入場ゲートに向かいました。まだ早い時間なのにゲートの前は長蛇の列ができていてに驚きました。開場は9:00だったのですが、8:00開場のアナウンスが流れ、子供たちは大興奮でした。地球儀のモニュメントの前でクラス写真を撮り、それぞれが入場していきました。パーク内では頭に飾りをつけてはしゃいでいる子供たちのあどけない姿をあちらこちらで見ることができ、満喫している様子に疲れも和らぎました。最後の集合時間が一番心配でした。後ろ髪を引かれる思いであったと思いますが、みんなで声を掛け合い、集合時間には余裕を持って集まることができました。帰りのバスでは、3日間の疲れからか落ち着いて生活することができました。森本インターを降りて津幡バイパスを走行していた時に「あ～見慣れた景色になってしまった。もう修学旅行終わる～。現実に戻された…。悲しい…。」などの声が聞こえてきました。そのあとに「中間テストもある…。でも切り替えて頑張らんなん。」といった前向きなコメントも。さすが受験生ですね。多くの保護者のお迎えの中、予定よりも30分早くシグナスに無事到着しました。落ち着いた姿で解散式を行い、帰路につきました。

「時」を守り続けることで最後の最後にユニバでの開場時間が1時間早まるというご褒美がありました。これからの学校生活でも場面、場面での切り替えを大切に、「時」を守って生活して欲しいと思います。修学旅行で見て・感じて・学んだことをこれからの学校生活や進路選択に活かして欲しいと願っています。

最後になりましたが、大きな事故や体調不良もなく元気に充実した3日間を過ごすことができたのも一重に、保護者の皆様のご理解とご協力の賜物であると、職員一同感謝しております。本当にありがとうございました。